

事業所名: グループホーム滑石

作成日: 2023年 2月 24日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	感染状況に応じて、地域交流を再開し、地域行事のみではなく、老人会や婦人会、子供会などのイベントや会合に参加したいと考えている。	コロナの状況を見ながら、地域での行事や、老人会・婦人会・子供会などのイベントなどに、入居者と一緒に参加する。	運営推進会議の委員の方・地域の行事の担当の方への聞き取りや、老人会・婦人会・子供会などに、職員が参加し、入居者も一緒にできるような行事を見つけ参加し、地域との交流を再開する。	24ヶ月
2	26	①今後もアセスメント時に、「できること」「できそうなこと」「各活動の要望」等を増やし、短期目標を具体化していく予定である。	ご家族や入居者本人に生活歴や、人生背景等の聞き取りを行い、生活目標を設定する。	モニタリングやアセスメントを行い、その方にあった、生活目標や日常生活習慣を目標に取り入れる。	24ヶ月
3	26	②アセスメント日と計画作成日(目標開始日)の整合性が図れるよう、計画作成のプロセスを見直していく予定である。	アセスメント日と計画作成の日程を決め、整合性を図る。	・いつアセスメントを行うのか、計画をいつ作成するのかを決め、整合性がとれているか再度確認を行う。	24ヶ月
4	26	③介護計画作成に際し、家族との話し合いの機会を増やしていく予定である。	介護計画作成時に、ご家族や入居者と話し合い、ご家族や入居者の要望をもっと介護計画書に落とし込んでいく。	・ご家族へ、日常の写真を送ったり、行事時の様子などを報告し、介護計画書作成時のみではなく、コミュニケーションを図っていく。	24ヶ月
5	35	2022年1月から管理者・リーダー含めて新体制になっており、ホームが入るリッチ滑石(アパート)建物内で火災が発生した際の対応を確認する予定。玄関から右側の居室は庭に直接避難できるが、左側の居室は、2階になる為、改めて避難する地域連携の状況や、消防署からのアドバイスを再確認していきたいと考えている。	グループホームだけではなく、その上の地域住民の入居スペースでの火災が発生した際、安全に避難出来るようになる。	・非常時の対応である為、消防に確認を行い、避難誘導マニュアルの作成を行う。	24ヶ月